

『かしぶち哲郎&鈴木博文アコースティックミニライブ』ライブ・レポート

(1998.05.02 ヴァージンメガストア新宿店) text by KRAFT.WARTZ

kashi no kai

博文さんがライブ中吐露してましたけど、ライダーズのベーシストとドラマーというリズム隊によるアコースティック・ライブ、っていうのも考えてみれば珍しいことだと思うんですよね。だってビートルズだとポールとリンゴですよ。こりゃぁ珍しい訳でして。そのうち岡田徹さんとくじらさんによる打楽器コンサートなども拝めるのではないかと。

で、その珍しいライブでありますけど、場所は東京の新宿にあるヴァージンメガストア新宿店という所で5月2日の17時から行われたました。早くも梅雨空を思わず生憎の小雨混じりとなりましたが、会場は黒山の人だかり状態。僕はステージに向かって左端に位置してたのですが、目の前にいた何気ない子供連れには、ライダーズの年期を感じました。どうりで歳取るわけでした。

博文さんの「モダン・ラヴァーズ」で始まったライブは、「駅は今、朝の中」「ボクハナク」「ジェラシー」とテンポ良くというか、愛想無く進行。ピンで聴く博文氏は久しぶりでありましたが、慶一氏がいないと艶消しヴォイスにも艶が乗っている感じで聴けた次第。最後にかしぶちさんと一緒に「スカーレットの誓い」を余裕で仕上げる始末。

続にかしぶちさん。風邪を引いていたようでいつもの幻惑ヴォイスに勢いがなかった感じでありましたが、「Beep Beep Be オーライ原曲はこうだったんだヴァージョン」から軽く流します。コレを聴けば誰もが、よくもまァ原曲をズタズタにしてくれたなァライダーズさん、と思うこと必死。もう殆ど恍惚状態といったところ。聴き損なった方は、今後予定されているかしぶちさんのソロ・ライブにどうぞ期待であります。このヴァージョンは昨年あったラ・カーニャでのソロ・ライブでも披露してました。で、「D/P」「Frou Frou」とこれまたテンポ良くというか、MC控えめで進行し、かしぶちミニライブは昇天したのであります。

ところで『ムーンライダーズアンソロジー 1976 1996』の方ですが、ジャケットがあの貞本さんが手がけているだけあって、今後の売れ行きが大いに注目されるところでして、因みに97年のまんが単行本の売り上げの第1位に「新世紀エヴァンゲリオン 4」が輝いたそうで、その数軽く200万冊を越えているようでした。4巻とも200万冊越えてるんなら、僕の予想ではこの貞本人気に便乗し、アンソロジーの総売り上げ枚数最低でも800万枚なんでありまして。

で、ライダーズアンソロジー人気に便乗して、『かしぶち SONGBOOK』の方も売れていく予定。まあ、話半分としてもその数最低400万枚。ちょっと多すぎるとご指摘を受けそうなので、下方修正して、100万枚としておきますが、コレ、意外とっちゃうかも知れませんよ。

HP掲載にあたり、オリジナル原稿から改行位置を変更させて頂きました。
(初稿 1998.05UP 分に追加修正「榎の会」管理人 KRAFT.WARTZ)